

令和6年度 富山市指定管理者モニタリングレポート

【指定管理施設概要】

施設名称		富山市立慈光園
指定管理期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
所在地		富山市西番104番地1
指定管理者	名称	社会福祉法人富山市社会福祉事業団
	代表者	理事長 西田 政司
	所在地	富山市蜷川15番地
施設所管課		福祉保健部 長寿福祉課

項目1 指定管理者制度の導入効果に関する項目

運営状況及び利用実績

項目	計画	実績	(対計画比)	特記事項（指定管理者記載欄）	特記事項（富山市記載欄）	評価
				※「対計画比」で±20%以上のズレがあった場合は記載必須	※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	
開館日数	365日	365日	100.0%	入所施設のため年中無休		B
利用者数（延べ）	39人	40人	102.6%	入所者数の年度当初（計画）と年度末（実績）の数		B

事業収支

項目	計画（千円）	実績（千円）	(対計画比)	特記事項（指定管理者記載欄）	特記事項（富山市記載欄）	評価
利用料金	-	-	-	事業収支は「シニアライフ講座」分を含む。 ・シニアライフ講座分【収入】（計画/実績） 「委託料」 1,170千円/1,170千円 「補助金」 934千円/462千円 【収入計】 2,104千円/1,632千円		B
指定管理委託料	94,449	94,449	100.0%			
指定管理補助金	75,218	69,898	92.9%			
その他	2	21	1050.0%			
収入計（A）	169,669	164,368	96.9%			
人件費	76,018	70,530	92.8%	「事業費」は、入所者数が見込みより少なく、多くの項目で減となった。 ・シニアライフ講座分【支出】（計画/実績） 「人件費」 1,734千円/1,094千円 「事業費」 228千円/107千円 「事務費」 142千円/107千円 【支出計】 2,104千円/1,308千円		B
事業費	58,833	49,257	83.7%			
給食費	23,410	15,218	65.0%			
教養娯楽費	794	563	70.9%			
日用品費	779	742	95.3%			
本人支給品	3,802	1,907	50.2%			
水道光熱費	25,924	27,551	106.3%			
燃料費	171	61	35.7%			
消耗器具備品費	534	631	118.2%			
その他	3,419	2,584	75.6%			
事務費	34,818	33,186	95.3%			
修繕費	3,068	2,668	87.0%			
業務委託費	21,652	21,507	99.3%			
その他	10,098	9,011	89.2%			
支出計（B）	169,669	152,973	90.2%			
収支（A－B）	0	11,395	－			

該当施設のみ

項目	計画（千円）	実績（千円）	(対計画比)	自主事業の内容、特記事項（指定管理者記載欄）	特記事項（富山市記載欄）	評価
使用料			－			
自主事業収入			－			
自主事業支出			－			

項目 2 施設運営の適正性に関する項目

No.	項目	評価の基準	特記事項（指定管理者記載欄） ※Bまたは○以外を記入する場合は記載必須	特記事項（富山市記載欄） ※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	評価
1	責任者の配置	責任者を定めているか	責任者は施設長（慈光園園長）なお、愛育園・慈光園の防火管理者にもなっている。		○
2	開館時間・休館日	①開館時間は管理業務仕様書に沿っているか			-
3		②休館日は管理業務仕様書に沿っているか			-
4	使用承認	①使用申請書に不備はないか			-
5		②使用許可（行為許可申請を含む）は基本協定書等に沿って行われているか			-
6	使用料及び利用料	①条例に記載された使用料及び利用料は適正に徴収できているか	利用料は入所者からの申告に基づき市が決定しており、入所者から市への支払いは個々の通帳から振込している。		○
7		②徴収した金銭は金庫等で適切に保管されているか	入所者毎に金銭出納帳を作成、通帳等と併せて施錠できる保管庫で管理している。		○
8		③利用料金の承認申請及び許可について、条例に定めたとおり適正に行われているか			-
9	自主事業	①自主事業の実施に当たり、申請及び承認を行っているか	自主事業を実施していない。		-
10		②管理業務と自主事業の決算は区分されているか	自主事業を実施していない。		-
11		③自主事業は独立採算となっているか	自主事業を実施していない。		-
12	職員体制	①職員配置は仕様書の水準が確保されているか	仕様書（富山市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例第6条）の水準を満たしている。		B
13		②必要以上に業務が過大化していないか。特定職員に業務が集中していないか			○
14		③（必要な資格がある場合）資格取得者は管理業務仕様書等に基づき適正に配置されているか	資格が必要な職員及び取得状況は次のとおり 施設長：資格認定講習課程修了 生活相談員（2名）：大学で社会福祉に関する科目を修めて卒業したもの（1名）、講習会課程修了者（1名）		B
15		④経理や接遇等について、職員の業務改善を実施する体制が整っているか	自治体や関係機関が開催する研修へ参加している。令和6年度6回参加（延べ14人）		○
16		⑤利用者の安全確保について、職員が対応できる体制が整っているか	消防避難訓練の実施（2回） 水害避難訓練の実施（1回）		○
17		⑥天災等の非常時の対応について、職員間に周知が図られているか	避難訓練実施のほか、マニュアル、非常時持ち出し袋の配置、非常時連絡体制を掲示している。		○

18	法令等の遵守	①関係法令・条例・規則等について、必要な時に確認できる体制となっているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		○
19		②関係法令・条例・規則等が遵守されているか			○
20		③関係法令等の改正があつた際、速やかに対応できる体制が整っているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		○
21		④遵守すべき法令等について、回覧や掲示等によって漏れなく職員に伝わる体制となっているか	事務室内にファイリングし配置している。必要に応じて回覧、掲示している。		○
22	個人情報の取扱い	①個人情報の取扱いに関する留意事項は周知されているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		○
23		②個人情報が記載されている書類は、第三者の目に触れないような形で適切に保管されているか	入所者毎にファイリングし、鍵のかかる保管庫で管理している。		○
24		③個人情報が記載されている書類を廃棄する際は、シュレッダーの活用等の漏洩防止対策が取られているか	廃棄する際はシュレッダーで粉砕処理している。		○
25	業務の改善	アンケートの実施等により、利用者からの要望や苦情に対しては迅速かつ丁寧に対応し、今後の業務改善に繋げているか	担当支援員が個々に対応しており、処遇会議で情報共有を図り、業務改善に努めている。		B
26	その他	①公平公正な運営を行い、特定の者に対して有利あるいは不利な取扱いをしていないか			○
27		②施設の維持管理業務を第三者へ委託していないか	平日の夜間や休日の宿日直業務の一部について、施設管理業務として富山市シルバー人材センターに委託している。		○
28		③指定管理者が独自で施設のホームページを作成している場合、その内容は利用者にとってわかりやすいか、また、適正に更新されているか（特に金額表記やリンクは正しいか）	市ホームページでのみ施設案内を掲載している。		-
29		④施設の清掃及び機器点検が適切に実施されるとともに、利用状況等が適切に管理されているか	業務報告書等で実施状況を把握している。		○
30		⑤障害を持った方が利用する場合等に備えて、職員の受け入れ体制やサポート体制は整っているか			○

項目 3 施設管理の適正性に関する項目

No.	項目	評価の基準	特記事項（指定管理者記載欄） ※Bまたは○以外を記入する場合は記載必須	特記事項（富山市記載欄） ※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	評価
1	施設の維持管理	①清掃、警備等の定例的な業務（実施頻度が比較的高めのもの）は適切に実施されているか。※再委託業務がある場合は、その内容も記載。	以下の業務を再委託で実施、業務報告書等で内容を確認している。 ・中央管理棟清掃業務（週2回、㈱パロン） ・園内清掃業務（床洗浄ワックス年3回等、テックサービス㈱） ・施設管理業務（毎日の宿直、土日祝の日直、富山市シルバー人材センター）		B
2		②保守点検業務等（実施頻度が低めのもの）は適切に実施されているか。※再委託業務がある場合は、その内容も記載。	以下の業務を再委託で実施、業務報告書等で内容を確認している。 ・エレベーター保守点検業務（月1回、フジテック㈱） ・冷暖房設備保守点検整備業務（年2回、冷暖房使用時 ㈱サブウ） ・電気工作物保安管理業務（年6回、北陸電気保安協会）		B
3		③点検によって判明した異常について、速やかに修繕・交換等の処置がとられているか	入所者の生活に影響がある異常等は速やかに修繕を実施している。		B
4	施設及び設備の修繕	①施設及び設備等の補修・修繕については、市に事前報告の上、迅速に対応するとともに、修繕が完了するまでの間は該当箇所をコーンやバリケード等で囲い、利用者の事故防止対策が取られているか	1件50万円超、年間見込額が300万円を超える場合は市に事前に報告している。該当箇所は利用者にわかりやすいように囲い、事故防止対策をとっている。		B
5		②過去に事故や故障が原因で補修・修繕を行った箇所について、その原因を分析し、再発防止策を講じているか	修繕履歴を記録し、原因が明らかな場合は再発防止や事故予防の対策を講じている。		B
6	備品の管理	①市から貸与している備品が区別されるとともに、丁寧に取扱われているか	備品台帳により管理している。		○
7		②市から貸与している備品に異動（滅失等も含む）があった場合、市に報告がされているか	備品台帳により管理している。		○
8		③指定管理者が購入した備品と市から貸与している備品が備品台帳上、明確に区分され、実際の数量と一致しているか	備品台帳により管理している。		○
9	施設の施錠	①施設の施錠は確実に行われているか	夜間は富山市シルバー人材センターの職員が対応しており、玄関は19時に施錠、21時の巡回時に窓、ドアの施錠を確認している。		○
10		②施設の鍵の管理方法に問題はないか	事務所内の施錠可能なキーボックスで管理している。		○
11	その他	市が許可していない設備が設置されていないか			○